

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年11月8日（金）

### 2 確認箇所

- ・伐採木一時保管エリアV
- ・既設多核種除去設備

### 3 確認項目

- (1) 伐採木一時保管エリアVの状況
- (2) 既設多核種除去設備（A）クロスフローフィルター二次側絞り弁グラウンド部からの漏えいへの対応状況

### 4 確認結果の概要

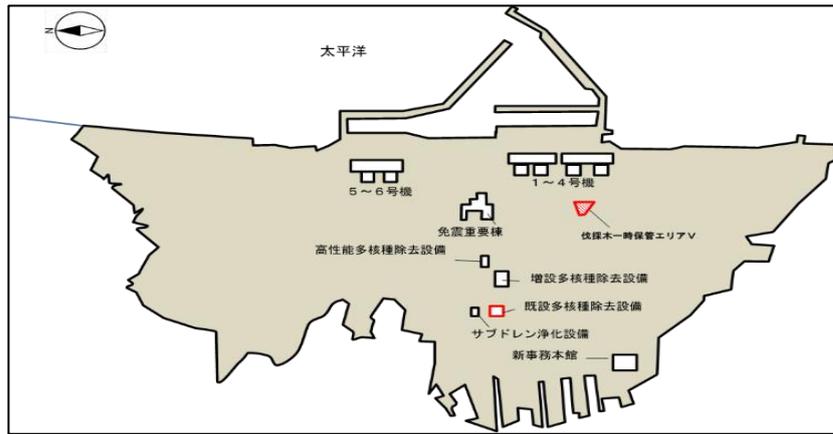
#### (1) 伐採木一時保管エリアVの状況について

昨日に引き続き伐採木一時保管エリアの状況を確認し、本日は、伐採木一時保管エリアVの現況を確認した。（図1）

- ・当該エリアには、伐採された幹や枝が、積み上げ高さが5m未満を満足した状態で保管されていた。また、飛散防止ネットがかぶされた状態で保管されていたが、一部ネットがない箇所も見られた。（写真1）
- ・積み上げた伐採木の内部温度を確認する温度計が1か所設置されており、約10℃を示していた。（写真2）
- ・保管されている伐採木の一部は腐食が進んでおり、風雨により飛散、流出のおそれがある箇所も見られた。（写真3）
- ・エリア南側には、消火用タンク、消火器が各々2基設置されていた。（写真4）
- ・当該エリアの今後の対応等について、東京電力に問い合わせたところ、次のとおり回答があった。

飛散防止ネットについては、手配中であったため、一時的にかぶせていない状況にあった（11月8日時点）。当該箇所は、ネットを手配するまでの間は委託や直営による巡視にて飛散していないことを確認しており、11月中にネットをかぶせる予定である。今後は伐採木の保管前にネットの準備をしておく。

腐食等によって飛散・流出するおそれがある細かい伐採木については、「木くず」扱いとして、委託の巡視で発見次第、回収及び金属容器収納を行い、所定の一時保管エリアで保管している。当該物については、強風で飛散・流出する可能性があることから、「木くず」の扱いとして速やかに回収する。今後も同様に発見次第、対応していく。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 南側から撮影



(写真2-1) 北側から撮影

温度計



(写真2-2)  
上記温度計。約10℃を示している。



(写真3)



(写真4)

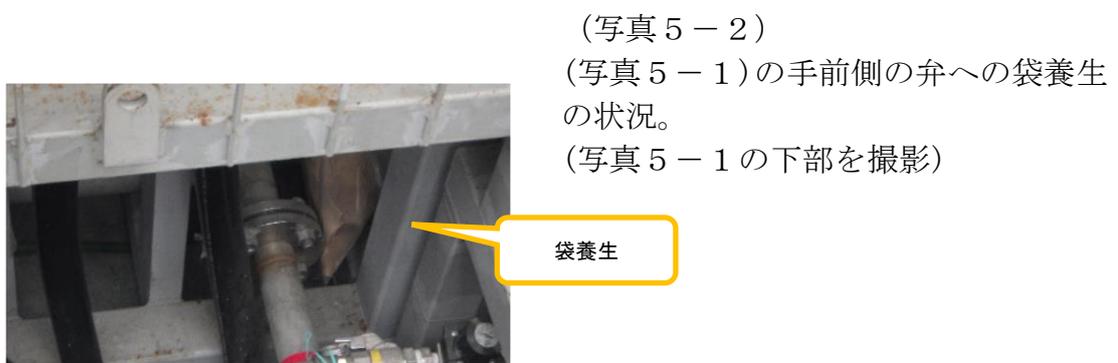
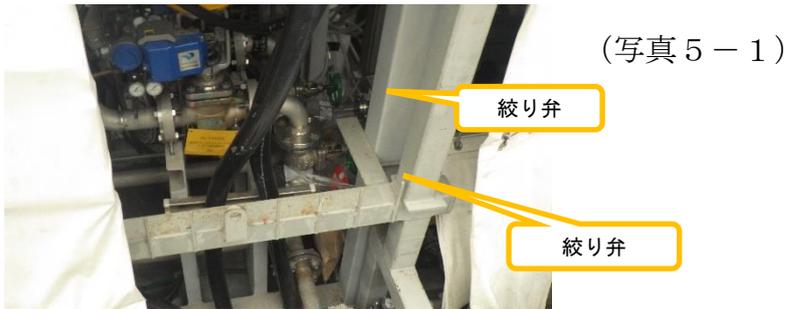
消火器(2基)

消火用タンク(2基)

(2) 既設多核種除去設備 (A) クロスフローフィルター二次側絞り弁グランド部からの漏えいへの対応状況について

昨日(11月7日)、午前10時24分頃、既設多核種除去設備(A)の堰内に水たまり(約10cm×5cm×深さ1mm×2カ所)があり、前処理設備であるクロスフローフィルターの二次絞り弁(2カ所)のグランド部から水がにじみ、滴下していることを協力企業作業員が発見したことから、現場の状況を確認した。(図1)

- ・漏えい箇所は堰内であり、現場確認時、漏えいは停止していた。また、2カ所とも紙タオル及びビニール袋による養生が行われており、ビニール袋内及び堰内に漏えい水は見られなかった。(写真5)
- ・東京電力によると、漏えいした水は系統水であり、当該弁の増し締めを昨日(11月7日)午前11時27分に行ったことにより、にじみは停止し、滴下した水については、拭き取りを実施したとのことである。また、今後、漏えいの原因を調査し、必要な対策を講じるとのことである。



- 5 プラント関連パラメータ確認  
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。